

## 器官・臓器の解剖Ⅲ(循環・呼吸器)

(Anatomy and Histology III :Circulatory and Respiratory Organs)

### 【責任者/担当者】

〔解剖学 細胞生物部門〕八木 秀司 主任教授

### 【担当者】

〔解剖学 細胞生物部門〕前田 誠司 准教授、湊 雄介 助教、佐久間 理香 助教

### 【目的】

医学を修める上で基礎となる人体の構造のうち、循環器、呼吸器に属する臓器の微細構造、肉眼解剖について理解する。

### 【科目キーワード】

「脈管系(vascular system)」「動脈(artery)」「静脈(vein)」「リンパ管(lymphatic vessel)」「血液(blood)」「リンパ組織(lymphatic tissue)」「気道(airway, respiratory tract)」「上気道(upper respiratory tract)」「下気道(lower respiratory tract)」「肺(lung)」「縦隔(mediastinum)」

### 【到達目標(アウトカム)】

#### 循環器系

- 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃の構造を説明できる。
- 赤血球の構造を説明できる。
- 白血球の種類を説明できる。
- 心臓(心臓の形態、心室・心房・弁膜の構造と働き、心膜の構成形態と構造)の構造を説明できる。
- 体循環、肺循環と胎児における循環を説明できる。
- 大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる。
- 頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。
- 主な静脈を図示し、門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。
- 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。
- リンパの分布を説明できる。

#### 呼吸器系

- 鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。
- 気管・気管支・肺の構造を説明できる。
- 肺循環の特徴を説明できる。
- 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。

### 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。
- ・患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。
- ・人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身に附けている。

### 【概要ならびに履修方法】

講義と3回の組織学実習により構成される。組織学実習は教育研究棟503実習室で行う。なお、実習は全出席することが必須である。

### 【準備学修ならびにそれに要する時間】

講義までに教科書(解剖学講義、現代の組織学ならびにプロメテウス解剖学コアアトラス)の該当する部分を確認すること(約1時間)。

実習前には教科書(現代の組織学ならびに機能を中心とした図説組織学)の該当する部分を確認すること(約1時間)。

### 【成績の評価方法・基準】

組織学実習はスケッチを評価する。定期試験は各臓器の位置、形態の基本的知識を評価する。定期試験の結果(約95%)と実習でのスケッチの評価(約5%)を持って判定する。ただし、実習を欠席した場合は単位を認めない。なお、再試験時の評価は、試験結果のみで行う。

### 【学生への助言】

実習に際して時間がかかる場合があるので、5限目もしくはそれ以降に予定を入れないこと。

### 【フィードバック方針】

学生ごとに個別に答案を開示する。

### 【オフィスアワー】

適宜質問は受け付ける。質問のある場合は、講義終了時等に、講義担当者に時間を確認した上で、教育研究棟9階、解剖学細胞生物部門を訪ねること。

### 【受講のルール、注意事項、その他】

顕微鏡実習で扱うプレパラートは人体由来のものが含まれている。紛失、破損等のおそれのある行為があった場合は実習を受けさせない。講義・実習態度の悪い学生については、定期試験の評価をしない。

### 【教科書】

- 「解剖学講義(改訂3版)」伊藤隆 原著(南山堂)2012年
- 「プロメテウス解剖学コアアトラス(第3版)」坂井建雄 訳(医学書院)2019年
- 「ウィーター図説で学ぶ機能組織学(原著第6版)」後藤薰、和栗聰 監訳  
(エルゼビア・ジャパン)2018年
- 「現代の組織学(改訂第3版)」山田安正 著(金原出版)1994年

### 【参考書】

- 「日本人体解剖学(改訂20版)」(上・下)金子丑之助 著(南山堂)2020年
- 「組織学(改訂20版)」阿部和厚、牛木辰男 著(南山堂)2019年
- 「分冊解剖学アトラスⅠ 運動器(第6版)」平田幸男 訳(文光堂)2011年
- 「分冊解剖学アトラスⅡ 内臓(第6版)」平田幸男 訳(文光堂)2011年
- 「分冊解剖学アトラスⅢ 神経系と感覚器(第6版)」平田幸男 訳(文光堂)2011年
- 「NHK スペシャル驚異の小宇宙・人体」(6枚セット)(NHK ソフトウエア)DVD 2003年
- 「ネットー解剖学アトラス(原著第6版)」Frank H. Netter 著 相磯貞和 訳  
(エルゼビア・ジャパン)2016年

### 【連絡先】

教育研究棟 9階 解剖学 細胞生物部門 セミナー室